

版画 「簡単コラグラフで『春の風』を作ろう」

版画の種類	紙版凹凸版	学校名	松江市立玉湯中学校	指導者	奥原千幸 山本啓湖
題材名	春の風を作ろう	学年	特別支援学級	時間	4時間
題材のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・ 春の風を想像して形に表すことができる。 ・ さまざまな素材を貼り付ける等工夫して版を作ることができる。 ・ 全体のバランスを考え表すことができる。 					
版画の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の風の雰囲気に関心、自分なりに表すことができる。 ・ 身近な素材を使い、貼り付けたりして版作りの楽しさを味わわせることができる。 ・ 紙や毛糸、綿や砂、ビニールなど様々な素材を貼り付けたり、メディウム(下地剤)を用いて版の凹凸を簡単に工夫することができ、版の工夫を楽しむことができる。(凸版) ・ 色を工夫して刷ることができる。 				
準備	ボード紙 (マット紙のような台紙になるような厚紙)、版画用具一式 [彫刻刀、バレン、油絵用絵の具 (油性版画インク多色可)、アマニ油 (油のぼし液)、インクベラ、ローラー各種、インク練り板、紙パレット) カッターナイフ、ハサミ、ニードル、針、穴開けパンチ、ルレット、ラッカー、のり、ボンド、綿、糸くず、紐、毛糸、砂、葉、ドライフラワー等、 メディウム (下地剤)、新聞紙、洗剤、手ふきタオル、版画刷り用紙 (今回は、デザイン用ケント紙使用。エッチング用などの堅めが良い。木版用の和紙はプレス機の圧で破れたり、版に吸着したりする)				

授業の流れ

1. 下絵を考えよう

- ① 春の風のイメージをシートに描こう。

2. マット紙に版を作ろう

- ① イメージを大事にし、塗ったり貼ったり工夫しよう。 ② 一晩置き、ボンド等完全に乾燥させる。
 ③ 乾燥後にローラーで圧をかける。



下地剤を塗る



完成した版をローラーで圧着し、定着させる。

④版の保護のため、ラッカースプレーを全体に吹き付ける。



※ラッカーの皮膜ができ、版が丈夫になる。
※ラッカースプレーが飛散ないように、
段ボールの壁の中でかけると良い。
※スプレー後、完全に乾燥させる。

3. 出来上がった版を刷ろう。

① 版画用紙を水につけ、新聞紙にはさむ。



② プレス機に、作品・紙位置を印つける。



③ 版にインクをローラーで工夫してつける。

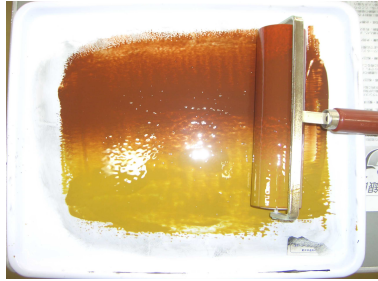


インクをローラーに付けて版につける。この時、紙パレットを使用し、色ごと「にローラーをセットすると作業が楽です。



④ 全体をみて、指で絵の具をすり込む。 必要であれば指や綿棒などで絵の具を於く。

⑤ 他のバットに、アマニ油で薄くのばした（サラサラに）
油絵の具をローラーにつけ、④の上のにせる。



アマニ油で伸ばした油絵の具



ローラーに付け版にのせる

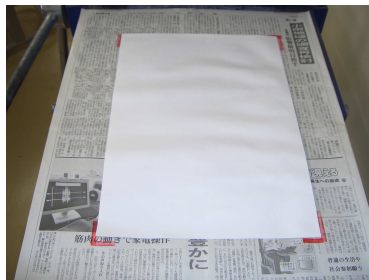


インクのせ完了

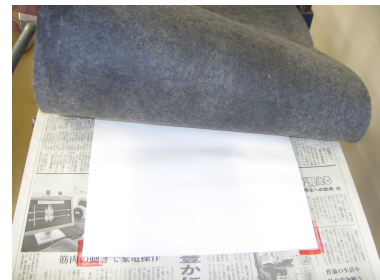
⑥ 版をプレス機にのせ、紙を置き、プレスする。



印に合わせ版を置く



印に合わせ紙を置く



フェルトを乗せプレスする

4. 完成

① 完成した作品にサインを丁寧にに入れて完成。



プレス後、紙をはぐ前（このように凸凹状態です）



完成作品

右：版

左：完成作品